明石工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	保健体育Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	0007	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義・実技	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	建築学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員	後藤 太之,石田 まさみ,小林 優希		

到達目標

・授業に参加して自身の健康増進、体力向上に努める。また、ある程度の自己管理力がある。
・それぞれの種目のルールやゲームの進め方を理解し、参加することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安
授業の取り組み	主体的に授業に参加して自身の健康増進、体力向上に努める。自己管理力が高い。	授業に参加して自身の健康増進、体力向上に努める。ある程度自己管理力がある。	授業への参加や自身の健康増進、体力向上に消極的。自己管理力が高くない。	授業に参加しない。自身の健康増進、体力向上に努めない。自己管理力が低い。
実技	各種目の練習、ゲームに積極的に参加し、競技力が非常に高い。また、ゲーム等に大きな影響力を持つ。	各種目の練習、ゲームに積極的に参加することができる。また、その技術を身に付けている。	各種目の練習、ゲームに参加することができる。	各種目の練習、ゲームに参加しない。
リーダーシップ	リーダーの役割をよく理解し、チームワーク力を高めることができる。	リーダーの役割を理解して担う、もしくは引き受けることができる。	リーダーの役割を理解しているが、その役割を担うことはない。	リーダーの役割を理解していない。またその役割を担うこともない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B)

教育方法等

概要	基礎体力の向上を図りつつ、様々なスポーツに適応できる能力を高める。また、身体活動を通して豊かな社会性を養い、ルールやマナー、安全に対する態度や知識も身につける。
授業の進め方・方法	ゲームや練習に積極的に参加し、その種目の楽しさを各々に発見してもらいたい。まずはルールやゲームの進め方などを覚え、基本技術の習得に努める。さらにゲームやゲーム形式練習を通して、より高度な技術を身に付け、チームワークカも高めてほしい。受講学生と担当教員が協力して安全で雰囲気のよい授業作りをしたいと考えている。
注意点	・学校指定のトレーニングウエア、運動靴、その他指示されたウエア等を着用すること。着用していない場合は減点の対象となる。 ・アクセサリー類、時計、その他不必要な物の着用や持ち込みを禁止する。これらも減点の対象となる。 ・遅刻は開始20分までとする。20分以後の参加は認めるが欠席扱いとする。 ・無断早退(抜け出し)が発覚した場合はその授業を欠席とし、それまでの授業も欠席同等の減点を課す。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	男女:ガイダンス + ラジオ体操(1) -45分-	この授業の目的、目標を理解する。安全に運動を行うために準備運動が必要であることを再認識する。
		2週	男女:ラジオ体操(2) -45分- + 男子:ソフトボール(1)-45分- / 女子:バレーボール(1)-45分-	ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。
		3週	男女:ラジオ体操(3) -45分- + 男子:ソフトボール(2)-45分- / 女子:バレーボール(2)-45分-	ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。
		4週	男子:ソフトボール(3) / 女子:バレーボール(3)	ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。
		5週	男子:ソフトボール(4) / 女子:バレーボール(4)	ルールやゲームの進め方を覚える。基本技術の習得に努める。
		6週	男子:ソフトボール(5) / 女子:バレーボール(5)	ゲームに参加することができる。
		7週	男子:ソフトボール(6) / 女子:バレーボール(6)	ゲームに参加することができる。
		8週	中間試験実施せず	
	2ndQ	9週	男子:ソフトボール(7) / 女子:バレーボール(7)	ゲームに参加することができる。
		10週	男女:水泳 -クロール-(1)	基本技術の習得に努める。
		11週	男女:水泳 -クロール-(2)	基本技術の習得に努める。
		12週	男女:水泳 -クロール-(3)	基本技術の習得に努める。
		13週	男女:水泳 -クロール-(4)	基本技術の習得に努める。
		14週	男女:水泳 -クロール-(5)タイム測定	タイム測定に参加し完泳する。
		15週	男女:水泳 -クロール-(6)タイム測定	タイム測定に参加し完泳する。
		16週	期末試験実施せず	
後期	3rdQ	1週	男子:柔道 (1) / 女子:ダンス (1)	基本技術の習得に努める。
		2週	男子:柔道 (2) / 女子:ダンス (2)	基本技術の習得に努める。
		3週	男子:柔道 (3) / 女子:ダンス (3)	基本技術の習得に努める。
		4週	男子:柔道 (4) / 女子:ダンス (4)	基本技術の習得に努める。
		5週	男子:柔道 (5) / 女子:ダンス (5)	基本技術の習得に努める。
		6週	男子:柔道 (6) / 女子:ダンス (6)	基本技術の習得に努める。
		7週	男子:柔道 (7) / 女子:ダンス (7)	基本技術の習得に努める。
		8週	中間試験実施せず	

	4thQ	9週	男子:柔道　(8)　/　女子:ダンス　(8)	試合(試合形式)に参加することができる。作品づくりに参加することができる。
		10週	男子:柔道　(9)　/　女子:ダンス　(9)	試合(試合形式)に参加することができる。作品づくりに参加することができる。
		11週	男子:柔道　(10)　/　女子:ダンス　(10)	試合(試合形式)に参加することができる。作品づくりに参加することができる。
		12週	男子:柔道　(11)　/　女子:ダンス　(11)	試合(試合形式)に参加することができる。作品づくりに参加することができる。
		13週	男子:柔道　(12)　/　女子:ダンス　(12)	試合(試合形式)に参加することができる。作品づくりに参加することができる。
		14週	男子:柔道　(13)　/　女子:ダンス　(13)	試合(試合形式)に参加することができる。作品づくりに参加することができる。
		15週	男子:柔道　(14)　/　女子:ダンス　(14)	試合(試合形式)に参加することができる。作品づくりに参加することができる。
		16週	期末試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	後15
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	2	後15
				目標の実現に向けて計画ができる。	2	後15
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	後15
				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2	後15
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	2	後15
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	後15
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	後15
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	2	後15
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	後15
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	2	後15
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	2	後15
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	2	後15
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	後15
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	後15
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	2	後15
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	2	後15

評価割合

	授業の取り組み	実技	リーダーシップ	合計
総合評価割合	75	10	15	100
基礎的能力	75	0	0	75
分野横断的能力	0	10	15	25